

Studyaid D.B. information vol.27

Studyaid D.B. 2005 シリーズ 新機能の使用事例 ～先生方の声より～

Studyaid D.B. 2005 シリーズの発行から半年が経過しました。早くも現場の先生方から、使い方の報告や、機能の感想などが届きつつあります。今回はそれらをご紹介しながら、2005年度版で追加された機能の具体的な使用事例について説明させていただきたいと思います。

※ 以下の使用事例は、先生方から頂いたご意見をもとに再構成した架空のものです。

● S.T先生 (数研高校)

月に1度の確認テストは、毎時間実施する小テストの問題をピックアップして作成しています。期間内の小テストを※1プリント挿入機能でつなぎ合わせ、必要な問題以外を削除したら、あとは※2シャッフルして完成です。応用力を見るために、少し違う問題を必ずひとつ入れますが、それには類似検索機能を利用してします。

※1 プリントをレイアウトした状態で、メニューバーの[挿入]→[Print用紙ファイルの挿入]を順に左クリック。開いた画面で、挿入したいプリントを選択。

※2 メニューバーの[編集]→[シャッフル(ランダムにレイアウトし直す)]を順に左クリック。

● U.D先生 (チャート学園)

作成した図が思ったより小さかったりして、これまではプリント後に図を調節することがありました。今回からは、作図のときに※1実際の長さで表示してくれるので、イメージどおりにかくことができます。

※3 メニューバーの[表示]→[図形プロパティ]を順に左クリック。[図形 数値表示]タブの○実測値にチェックをつける。(□単位を表示にチェックをつけると長さの単位も表示) 作図時に表示されるガイダンス画面で□辺の長さ・角度表示にチェックをつける。

● Y.A先生 (御所近学院)

問題はすべて自作しています。文章はいいのですが、三角関数の加法定理など長い数式を何度も入力しないといけないときは、やはり面倒に感じていました。2005年度版の※1ユーザーパレット機能は、文章や数式を登録しておくため非常に重宝しています。私の場合は、よく使う数式を中心に登録しています。

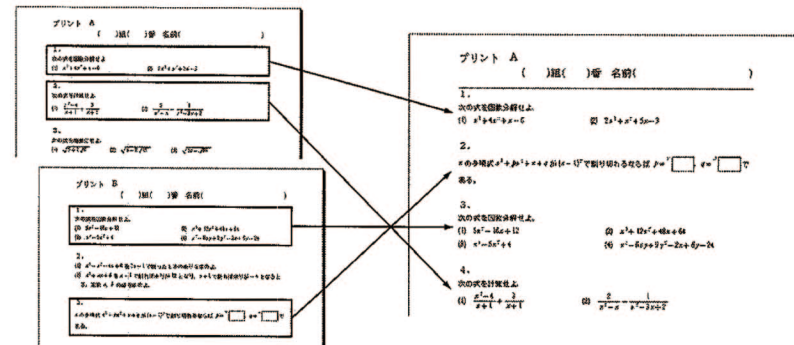
※4 ツールバーのユーザーパレット ボタンを左クリック。

登録のときは、登録したい部分を反転させて登録 ボタンを左クリック。

● I.D先生 (横坂中学校)

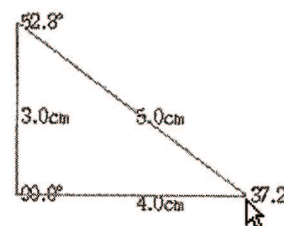
問題をレイアウトしてみたら1行だけ次のページにはみだしていた、ということがよくあります。どこかの問題の間隔を狭くすればいいのですが、ぎっしり詰まった計算プリントなんかだとそれも無理です。こんなときでも、※1レイアウト画面上で余白の変更ができるようになったので、体裁の手直しが楽になりました。

※5 ツールバーの[スタイル]→[画面上で余白変更]を順に左クリック。青線をドラッグすると余白を変更できます。

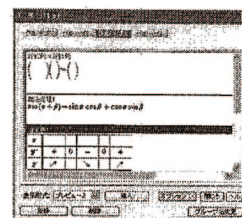


プリントBをプリントAに挿入してシャッフル

図形を実際の大きさに描く

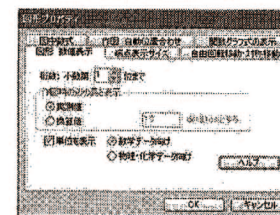


ユーザーパレットに登録する



ユーザーパレット画面

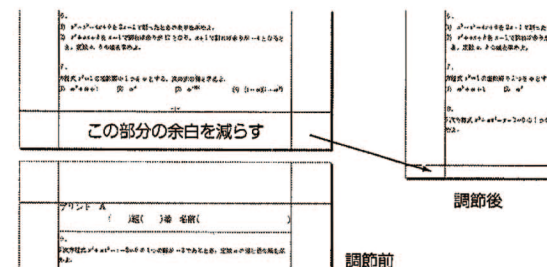
図形プロパティ画面



作図時に表示されるガイダンス画面



この部分の余白を減らす



レイアウト画面上で余白を調節する

Studyaid D.B. を使いこなす

Studyaid D.B. はあるけれども使ったことがない。使っているけれども詳しくは知らない。そういう方のために、基本的な操作や便利な使い方などをご紹介します。今回は、前回に引き続きオリジナルの問題を作成するときの手順をご説明します。

第7回 問題を作成する(2)

前回は、文章入力までご紹介しました。今回は、数式の入力・修正の方法について詳しくみてみたいと思います。
<2004年度版 (ver. 9) 以降の製品に対応しています>

「数式入力モード」

問題を作成するときは以下の4つのモードを使いわけることになります。

文章入力モード 数式入力モード
図形描画モード 図形編集モード

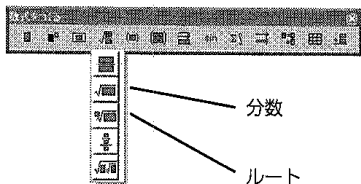
問題作成を開始すると、文章入力モードになっています。この状態でxやyなどを入力しても数学で使う見た目の文字にはなりません。

数式を入力したいときは、**数式を作る**のボタンを左クリックします。

この状態でxやyを入力すると、教科書などで使われている x , y が入ります。

「分数やルートなどの入力」

次は、式の中に分数やルートが入っている場合の入力方法です。数式入力モードになると、画面上部に下図のツールバーが表示されます。



これらの中から、入力したいパターンを選び、**数式を作る**に数値や文字を入れて式をつくります。

たとえば、次の式を入力する場合を考えます。

$$y = \frac{2}{3}x^2 + x$$

この式を普通に入力していくと、①のようになってしまいます。この場合、2までを入力したら、キーボードの矢印キー(→)を数回押して、カーソル(|)を②の位置まで移動させます。

① $y = \frac{2x^2+x}{3}$

② $y = \frac{2}{3}x^2 + x$

べき乗の2を入力したあとも同様です。

数式が完成したら、**数式入力終了**のボタンを左クリックするか、Enterキーで確定させてください。

「数式を修正する」

いったん確定した数式の一部だけを修正したいときは、数式の上でダブルクリックするか、右クリックしてメニューを出し、数式再編集を選んでください。

「図中数式」

図中数式とは、数式(文章も可)を図形扱いにして作成できる機能です。これで作成した数式は、好きな位置に配置できます。グラフに関数式を添えるなど、通常の記事入力では位置の微調整が難しいときにお使いいただくと便利です。

図中数式を作るのボタンを左クリックすると、図中数式の入力画面になります。